

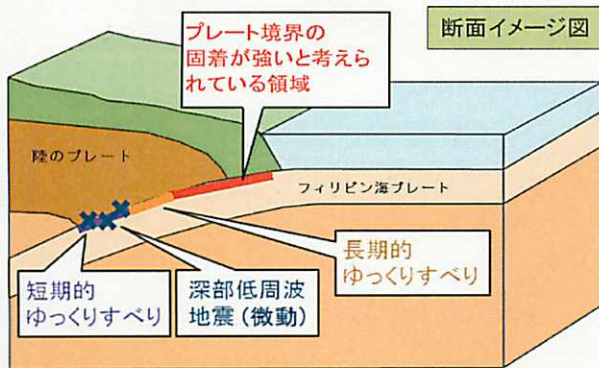
# 地震等の防災対策は日頃の備えから！

千葉県東方沖で「スロースリップ」と呼ばれる地下のプレートの境界がゆっくりとずれ動く現象が原因と考えられる地震が多く観測されています。

また、6月17日には群馬県南部を震源とする最大震度5弱の地震が、さらに、翌18日には大阪府北部を震源とする最大震度6弱の地震が発生しました。

このように日本各地で地震活動が活発となっていることから、地震等の災害に対する備えについて、家族で確認をしましょう。

※「スロースリップ」とは、陸側と海側のプレートの境界がゆっくりとずれ動く現象で、政府の地震調査委員会によると、千葉県東方沖では数年おきに発生し、そのたびに周辺の地震活動が活発になるため、今後の地震活動に注意が必要とされています。



※この図は南海トラフ巨大地震について、用語の解説の部分に掲載している図ですが、房総沖のメカニズムも基本的には同じです。

資料: 気象庁

## ◎大きな揺れに備えて

災害による被害は、日ごろの備えによって減らすことができます。自治体などによる防災の取り組み(公助)はもちろんのこと、自分のことは自らで守る(自助)や地域の人たちで助け合うこと(共助)こそ、災害による被害を少なくするためには不可欠な取り組みといえます。

いざというときに備えて、非常持出品の準備や家屋の耐震改修、家具の固定など、まずは身のまわりの安全対策から始めましょう。また、大きな災害が発生した場合、自治体などの防災機関による活動には限界があります。こうした場合には、何よりも地域の人たちの協力が必要です。地域の人たちで協力して、災害時にすばやく行動できる体制をつくりましょう。

## 家の内外に危険箇所がないか確認

- 家具の転倒を防ぐ
- 家屋の耐震性
- 感震ブレーカー等の設置
- ブロック塀の倒壊危険性など

## 非常持出し品、非常備蓄品の確認

- 食料や飲料水、薬、携帯トイレ、燃料等
- 最低限3日分、可能な限り1週間分程度の備蓄を

## 防災訓練への参加

- 町が実施する防災訓練
- 自主防災組織、民間企業等が行う防災訓練

## 自分が住んでいる地域の震災時避難場所の確認

- 家族全員で安全な経路を確認しながら、実際に歩いてみましょう。

## 家族が離れ離れになれたときの連絡の方法を確認

- 「災害用伝言ダイヤル171」
- 携帯電話の「災害用伝言板」

